



ビョーン・F・ロールヴェーク作

グリー・モールスン 絵
さわきちる 訳

3びきのヤギのブルーセ プールで おおさわぎ



あるところに、スルーセという
なまめのヤギが3びきいました。
3びきは さまの くさばへ ふとりにいく
つもりでした。
ヤギたちは いつもの ように、
おつに なって あるいていきました。
小さいヤギが せんとうで、
ちいさいのヤギが まんなか、
大きいヤギが いちばんうしろです。



トロルは おつの せんとくに むかって
ずんずん すすんでいきました。
「ききに いかせよ、おれは
トロルなんだぞ!」と どりました。
「ああ、もう!」と ぶさいやが
メエメエいきました。
「なんとかしてよ、にいちゃん!」

にゃーん

しかし、スルーセたちより ききに、あの ぶさいな ウサギが とびだしてきました。
そして、トロルの しっぽを ひっぱり しかりつけました。

「やめなさい! ここでは いじわるは きんしされているのよ!」
「そりゃ、ごめんね!」と トロルは いいました。「ああ、こわい、こわい」
「ちゃんとしなさい おいしますよ!」
トロルは ニヤニヤしながら、ほかの どうぶつたちの まうを むき、わめきました。
「おれは すべりだいは しないぞ! かいだんの 下に すわるだけさ。
いまは、それも きんしされているのかい?」



早くおいのヤギが やってきました。
がたこと がたこと と、かいだんが くなりました。

「だれだ、
おれの かいだんを
がたことさせるのは」と
トロールが いいました。
「ほくと、早くおいのヤギの
スルーセキ。サベリだいを しにい
ところなんだ」と こたえました。
**「いまこそ、おまえを
たべてやるぞ！」**
と トロールが くなりました。
「ああ、どうか セベないで。
ほくより ずっと 笑きくて
つよい にいちやんが くるよ」

「そんなら、とつとと いっちまえ」
と トロールは いいました。





9784883034963



1928797018000



3びきのヤギの スルーセたちは くさばに むかう
とちゆうで、あたらしい ひょうしきを みつけます。
そこには「スールランドまで200メートル」と かいてあります。

「ことは あっちに いってみようよ」と
中ぐらいのヤギが いいます。
「くさばは とても たいくつだよ」
「おねがいでよお」と 小さいヤギが いいます。
「そうしたら、あの はしを わたらなくてもいいし。
あそこにいる トロルは すごく こわいんだもの」

大きいヤギも それじゃあ いってみるかとうなずき、
スルーセたちは スールに むかいます。
ヤギたちは トロルと であわずに すむでしょうか？

